

死亡届

令和 年 月 日 届出

東京都〇〇〇〇区長殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	東京都〇〇〇〇区長印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知

(1) (よみかた) _____

(2) 氏名
氏 _____ 名 _____ 男 女

(3) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) 午前 _____ 時 _____ 分 午後

(4) 死亡したとき 令和 年 _____ 月 _____ 日 午前 _____ 時 _____ 分 午後

(5) 死亡したところ _____ 番地 _____ 番 _____ 号

(6) 住所
(住民登録をして) _____ 番地 _____ 番 _____ 号
世帯主の氏名 _____

(7) 本籍 _____ 番地 _____ 番
(外国人のときは(国籍だけを書いて)ください) 筆頭者の氏名 _____

(8) 死亡した人の夫または妻 いる(満 _____ 歳) いない(未婚 死別 離別)

(9) _____

(10) 死亡したときの世帯のおもな仕事と
1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯
2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯
3. 企業・個人商店等(官公庁はのぞく)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)
4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)
5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯
6. 仕事をしている者のいない世帯
(国勢調査の年... 年... 4月1日から翌年3月31日までに死亡したときだけ書いてください)

(11) 死亡した人の職業・産業
職業 _____ 産業 _____

その他 _____

届出人
1. 同居の親族 2. 同居していない親族 3. 同居者 4. 家主 5. 地主
6. 家屋管理人 7. 土地管理人 8. 公設所の長
住所 _____ 番地 _____ 番 _____ 号
本籍 _____ 番地 _____ 番 筆頭者の氏名 _____
署名 _____ 印 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

事件簿番号 _____

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に出してください。死亡者の本籍地でない役場に出すときは、2通出してください(役場が相当と認めるときは、1通で足りることもあります)。2通の場合でも、死亡診断書は、原本1通と写し1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。
内縁のものはふくみません

□には、あてはまるものに☑のようにするしをつけてください。

死亡者について書いてください。

連絡先
電話() 番方
自宅・勤務先・呼出

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名 吉〇〇〇 男 女 生年月日 明治 昭和 令和 大正 〇 年 〇 月 〇 日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください) 午前・午後 時 分

死亡したとき 令和 1 年 5 月 7 日 (推定) 午前・午後 3 時 2 分 (頃)

(12) 死亡したところ 〇〇県〇〇市〇〇町の山林 番地 _____ 番 _____ 号

(13) 及びその種別 (死亡したところの種別1～5) _____ 施設の名称 _____

死亡の原因

◆I欄、II欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください	(7)直接死因	〇〇〇〇〇〇中毒	発病(発症)又は受傷から死亡までの期間	〇〇時間	
	(イ)(7)の原因				
	(ウ)(イ)の原因		◆年、月、日等の単位で書いてください。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。(例:1年3か月5時間20分)		
	(エ)(ウ)の原因				
◆I欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください。	直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等				
	手術	部位及び主要所見	手術年月日	令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
◆I欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください。ただし、欄が不足する場合は(イ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください。	解剖	主要所見			

(14) 死因の種類 1 病死及び自然死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒 転落 4溺水 5煙、火災及び火焔による傷害 } 外因死 { 6窒息 7中毒 〇その他(推定) } その他及び不詳の外因死 { 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 }

(15) 12不詳の死

外因死の追加事項 傷害が発生したとき 令和、平成、昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 傷害が発生したところ _____ 都道府県 _____ 市 _____ 区 _____ 町 _____ 村

(16) 傷害が発生したところの種別 1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他()

◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください 手段及び状況 _____

(17) 生後1年未満で 出生時体重 _____ グラム 単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎(子中第 _____ 子) 妊娠週数 _____ 満 _____ 週

病死した場合の追加事項 妊娠・分娩時における母体の病態又は異常 _____ 母の生年月日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 前回までの妊娠結果 _____ 出生児 _____ 人 _____ 胎 _____ 死産児 _____ 人 _____ 胎 _____ (妊娠満22週以後に限る)

(18) その他特に付言すべきことがら 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(19) 上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 令和 1 年 5 月 10 日 本診断書(検案書) 発行年月日 令和 1 年 5 月 11 日 (病院、診療所若しくは老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所) 〒999-9999 東京都〇〇区〇〇〇〇町1-4 5 〇〇〇〇〇〇〇〇病院 番地 _____ 番 _____ 号 (氏名) _____ 医師 登録医師 1 _____ 印

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付けて書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)、等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週(分娩中)」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付けて書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。

「5煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。母子健康手帳等を参考に書いてください。